

事務事業名	自然保護教室事業	事務事業No.	1
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> あり（ ） <input checked="" type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	環境政策課
		担当課長	石原 弘一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	みどりと水	みどりをはくむしくみづくり	みどりに対する意識の啓発

【事業概要】

目的 (何のために)	自然を保護し、緑に親しむきっかけを作り、緑の大切さを啓発する。
対象 (誰・何を対象に)	市民
手段・方法 (内容、やり方等)	庭がなくても鉢を利用して、緑を育てる事ができるガーデニング教室を年1回開催する。
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) ( 緑に親しむ機会を作り、市民に緑の大切さを再認識してもらう。 ) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) ( 様々な事例をスクリーンで紹介され、緑の大切さを認識する事ができた。 ) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) ( 平成22年3月25日に「庭いらずのガーデニング 自然保護教室」を参加者15名で実施した。 )
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) ( 自然保護教室として、平成14年度から平成16年度までは「バードウォッチング」を実施、平成17年度から平成21年度までは「庭いらずのガーデニング」を実施した。 ) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない ( 人気があり楽しみにしている市民も多く、「庭いらずのガーデニング」を4年間続けてきたが、マンネリ化していないか？ ) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) ( 庭いらずのガーデニングは毎回希望者が多いが、他の内容でどのようなものなら、市民が緑の大切さをわかってもらい参加できるか見直しをする。 )

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	37,000	37,000	
当初予算額	37,000	37,000	37,000
決算額	37,000	37,000	
執行率	100.00%	100.00%	
人件費合計 ②	460,000	460,000	445,000
一般職員工数(人/年)	0.050	0.050	0.050
一般職員人件費	460,000	460,000	445,000
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	497,000	497,000	482,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	497,000	497,000	482,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	4.495	4.465	4.310
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	27,611.111	33,133.333	32,133.333
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	
指標1	活動量	名称	回	目標値	1	1	1
		説明		実績値	1	1	
指標2	成果	名称	人数	目標値	15	15	15
		説明		実績値	18	15	
指標2	活動量	名称		目標値			
		説明		実績値			
指標2	成果	名称		目標値			
		説明		実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
「緑に親しむ機会を作り、市民に緑の大切さを再認識してもらう。」と目標がある。どのような内容の自然保護教室ならもっと多くの市民に再認識してもらえ、参加する事ができるかを検討すると、「庭いらずのガーデニング」でなくて「樹木ウォッチング」を自然保護教室として開催し、新緑の時に実施したい。	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価

庭がなくても緑に親しむということで、スクリーンで実例を紹介したあとガーデニング作業を実施する教室とのことであるが、自然保護や緑の大切さを啓発する事業として、緑の多い小金井ならではの内容をもう少し検討したかどうか。人気のある教室とのことであるが、定員が少なく、啓発という目的からするともう少し多くの市民が参加できることが望ましい。また、緑の大切さを認識できたかどうか、アンケート等で実際確認しているわけではないようなので、事業終了後は市民の感想を含め、何らかの成果の確認作業が必要と考える。同じような内容で公民館等、他課でも実施しているようなので、環境政策としての視点での事業と重複していないか、また、連携して事業を実施できないかなど再検討する必要があるのではないかと。そういう検証を踏まえたうえで、目的に合った内容の事業を広く市民を対象にして実施していくことであれば継続する意義があると思われる。また、事業を行っていくに際しては、根拠となるものがないので要綱等を制定し実施していく必要がある。

今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）

活動量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 協働化	<input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止				

【第3次評価】（庁内部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価

今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）

活動量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 協働化	<input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止				

事務事業名	保全緑地の指定・助成事業	事務事業No.	6
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市緑地保全及び緑化推進条例、小金井市緑地保全及び緑化推進条例例施行規則） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	環境政策課
		担当課長	石原 弘一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	みどりと水	みどりの保全	緑地の保全緑地の確保

【事業概要】

目的 (何のために)	保全緑地の指定と助成措置を行い緑地を保全する。
対象 (誰・何を対象に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存樹木：保存樹木の所有者、占有者、管理者</li> <li>・保存生垣：保存生垣の指定を受けた所有者、占有者、管理者</li> <li>・保存樹木及び保存生垣調査委託料：保存樹木及び保存生垣</li> </ul>
手段・方法 (内容、やり方等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存樹木 毎年度4月に申請を受け付け委託による調査結果を審議会の答申を経て5年間指定し、毎年2月に 年間の管理状況報告書の提出を受け年度末に保存樹木肥培管理奨励金を支払う。</li> <li>・保存生垣 毎年度4月に申請を受け付け委託による調査結果を審議会の答申を経て5年間指定し、毎年2月に年間の管理状況報告書の提出を受け年度末に保存生垣奨励金を支払う。</li> </ul>
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成21年度の本事務事業の目標は何か。  <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>( 保存樹木21年度分指定目標380本 保存生垣21年度分846m 環境緑地5,652.16㎡ 5年間の指定期間終了者への継続をお願いし現状の保全をし、且つ、新規の申請受付を啓発する。 )</p> <p>平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。  <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>( 保存樹木は21年度指定は384本、保存生垣809m、生垣造成87.8m、環境緑地6,655.61㎡ )</p> <p>平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>( 保存樹木は新規の申請者はなかったが更新者からの30本の指定増があった。生垣は新規が2件解除2件で件数35件が保全された。環境緑地は新規で913.45㎡の指定を行った。 )</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。  <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>( 保存生垣の指定要件延長10m以上について、連続する2戸で10mを満たす場合も指定可能とした。 )</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。  <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>( 長期間保存樹木、保存生垣の更新をしてきたが所有者の高齢化、入院により維持困難となったり、相続等で家の建て替えで解除されるケースが多くなった。 )</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。  <input checked="" type="checkbox"/>ある                  →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可)  <input type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/>その他  <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>市街化された街並みに緑を増やすには道路に面した緑の連続性のある、マンションの生垣を増加することが必要である。                  ( 高齢世帯の住宅の生垣管理者が良い状態で生垣を維持できるようアドバイスする等植木の専門的な相談が出来る所があると良い。 )</p>

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	6,326,079	5,858,889	
当初予算額	6,527,000	6,089,000	5,799,000
決算額	6,326,079	5,858,889	
執行率	96.92%	96.22%	
人件費合計 ②	1,472,000	1,196,000	890,000
一般職員工数(人/年)	0.160	0.130	0.100
一般職員人件費	1,472,000	1,196,000	890,000
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	7,798,079	7,054,889	6,689,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	7,798,079	7,054,889	6,689,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	70.534	63.374	59.819
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	18,655.691	18,372.107	94,211.268
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	3,246.494	8,720.506	11,532.759

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度	
					目標値	実績値		
指標1	活動量	名称	保存樹木指定申請件数	件	目標値	56	30	21
		説明	保存樹木の指定を受けるために4月中に申請する。		実績値	52	25	
指標1	成果	名称	保存樹木指定本数	本	目標値	412	380	71
		説明	各年度の指定申請数5年毎の更新も含む。		実績値	418	384	
指標2	活動量	名称	保存生垣指定件数	件	目標値	114	40	40
		説明	保存生垣の指定を受けるために4月中に申請する。		実績値	97	846	
指標2	成果	名称	保存生垣指定延長	m	目標値	2666	35	580
		説明	各年度の指定申請数5年毎の更新も含む。		実績値	2402	809	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
保存樹木は21年度新規4件22年度更新のみで指定件数は増加しなかったが指定本数が目標数値を上回るようになった。これは5年の更新を迎えた神社が新規指定の樹木を増やしたことによるものである。 保存生垣は21年度、22年度共2件の新規があったが、更新件数が減少している。 環境緑地は園分寺産線内ではないが1件新規の指定があった。 現状評価の記述 小金井市の現状は相続による生産緑地地区の削除箇所へ新規の宅地造成、また、市街地住宅の取壊しによる高層化による住宅の居住者が増加しているが、保存樹木に該当する樹木や生垣がある住宅が減ることがあっても増加する傾向にない。このような傾向の中で保存樹木や生垣を現状で保全することは、高齢化した所有者に何度も連絡をして維持してもらう相当な努力を要することが必要となっている。	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	野川流域環境保全協議会事業	事務事業No.	11
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（野川流域環境保全協議会規約） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	環境政策課
		担当課長	石原 弘一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち	みどりと水	水辺の拡大	水辺の創出

【事業概要】

目的 (何のために)	野川の河川環境の改善に資することを目的としている。
対象 (誰・何を対象に)	野川の環境
手段・方法 (内容、やり方等)	野川流域環境保全協議会 分担金 3万円
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (野川流域団体(5市/国分寺市/小金井市/三鷹市/調布市/狛江市+1区/世田谷区)の事業展開) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (委員会年1回・幹事小委員会年2回・見学研修会年1回) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) ( )
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (広域事業のため) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> ない ( ) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (広域事業のため)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	30,000	30,000	
	当初予算額	30,000	30,000	30,000
	決算額	30,000	30,000	
	執行率	100.00%	100.00%	
	人件費合計 ②	0	0	0
	一般職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	一般職員人件費	0	0	0
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	30,000	30,000	30,000	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	30,000	30,000	30,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	0.271	0.269	0.268
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	
指標1	活動量	委員会開催	回	目標値	2	2	2
		説明 5市+1区での委員会		実績値	2	2	
	成果	野川サミット宣言		目標値			
		説明 5市+1区での取組の方向性		実績値			
指標2	活動量			目標値			
		説明		実績値			
	成果			目標値			
		説明		実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
野川は代々の世代に受け継がれてきた川であり、清らかな流れを次世代に継承していくためにも、継続していくものと評価する。	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	環境市民会議補助金	事務事業No.	632
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市環境市民会議補助金交付要綱） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	環境政策課
		担当課長	石原 弘一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち	人と自然との共生	環境にやさしくいきみづくり	計画的な環境保全施策の推進

【事業概要】

目的 (何のために)	小金井市環境基本計画推進のため
対象 (誰・何を対象に)	市内全域
手段・方法 (内容、やり方等)	環境市民会議補助金 60万円
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (市民会議が行う事業に対して補助金を交付することにより、環境の保全等に寄与する。) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (補助金事業の開催等) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (環境市民会議補助金事業(環境講座、環境フォーラム、環境フィールドワークを開催))
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (上記事業に加え、事業の拡大を行っている。) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (事業の拡大に伴い、他市を含め地域との連携が必要である。) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (環境基本条例第27条の第4項で支援するものとする、としている。事業の拡大に伴い、補助等の拡大が必要である。

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	600,000	600,000	
当予算額	600,000		600,000
決算額	600,000	600,000	
執行率	100.00%	100.00%	
人件費合計 ②	3,992,800	3,992,800	3,862,600
一般職員工数(人/年)	0.434	0.434	0.434
一般職員人件費	3,992,800	3,992,800	3,862,600
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	4,592,800	4,592,800	4,462,600
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	4,592,800	4,592,800	4,462,600
市民1人当たりコスト (C/人口)	41.542	41.257	39.909
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	5,741.000	7,654.667	4,056.909
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	3,827.333	4,592.800	3,718.833

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	実績値
指標1	活動量	環境啓発活動	回	目標値	3	3	3
		説明 環境イベント等開催		実績値	4	3	
	成果	参加人数	人	目標値	800	1000	1100
		説明 環境に関わるいろいろな人や組織、活動などをコーディネートし、効果ある取り組みにしてい		実績値	800	600	
指標2	活動量	環境広報紙の発行	回	目標値	3	3	3
		説明 広く市民に環境について啓発及び催し物のお知らせ等		実績値	3	2	
	成果	環境広報紙の発行	数	目標値	1200	1200	1200
		説明 発行部数		実績値	1200	1000	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
小金井市環境基本計画の推進について、大きな力を発揮している。 現在環境市民会議は補助金で3つの(環境講座、施設見学会、環境フォーラム)事業を展開している。この事業は環境基本計画の事業の一部であり、8つからなる環境基本計画の実現に向け更なる予算等の拡大が必要となる。 活動量としては、今年度、野川の日という新しい環境事業を行い、市長の挨拶をいただき、新しい野川の清掃等を行って行くものである。	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価

緑豊かで快適な魅力あるまちを目指す本市において計画的な環境保全施策の推進は必須のことと思います。その中で職員の対応のみならず環境市民会議等を設置し、市としての計画と市民の声を調整することによりよりよい環境マネジメントを作り上げていることについては評価したいと思います。環境市民会議の設置はとても有効と思われませんが、設置の根拠となる環境基本条例の中の位置付けがいま一つ不明確なように思われますので検討をお願いします。

今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）

活動量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 協働化	<input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止				

【第3次評価】（庁内部部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価

今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）

活動量	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 協働化	<input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止				

事務事業名	雨水貯留施設設置費補助金	事務事業No.	633
-------	--------------	---------	-----

<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市雨水貯留施設設置費補助金交付要綱） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	環境政策課
		担当課長	石原 弘一

**【総合計画における位置づけ】**

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	人と自然との共生	環境にやさしくみづくり	計画的な環境保全施策の推進

**【事業概要】**

目的 (何のために)	雨水の積極的な利用と節水活動の推進
対象 (誰・何を対象に)	市民に雨水貯留施設購入費の1/2補助(ただし30,000円を上限とする)
手段・方法 (内容、やり方等)	貯留施設を設置した申請者宅を訪ねて申請書等を持参し、設置状況を確認(写真を撮る)。領収書等で審査を行い、交付・不交付を決定する。交付決定者に対して交付決定通知書を持参し、交付請求書を記入してもらい、指定口座に補助金を振り込みます。
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (20年度実績以上の補助件数の獲得。) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (補助件数 平成20年度13件→21年度20件 補助金額 平成20年度216,570円→21年度293,850円) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (同上)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (市報、チラシ等PRIにつとめ、文字だけでなく写真を掲載。 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (年々件数は上昇しているが、1件当たりの補助金額が低くなっている。) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) (商品単価の下落にともなうものだから。安く設置件数が増えてほしいという願望もある。

**【総コスト指標】**

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)	
歳出	事業費(決算額)①	216,570	293,850	
	当初予算額	300,000	300,000	300,000
	決算額	216,570	293,850	
	執行率	72.19%	97.95%	
	人件費合計②	1,840,000	1,840,000	1,780,000
	一般職員工数(人/年)	0.200	0.200	0.200
	一般職員人件費	1,840,000	1,840,000	1,780,000
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	2,056,570	2,133,850	2,080,000	
歳入	国・都支出金の合計③	0	0	0
	使用料・手数料の合計④	0	0	0
	その他の合計⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	2,056,570	2,133,850	2,080,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	18.602	19.168	18.601
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	158,197.692	106,692.500	#VALUE!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

**【指標データ】**

指標	活動量	名称	補助金交付金額	単位	値	20年度	21年度	22年度
						目標値	実績値	目標値
指標1	成果	名称	補助金交付件数	件	目標値	10以上	15以上	20以上
		説明			実績値	13	20	
指標2	活動量	名称	広報活動(市報掲載)	件	目標値	2	2	2
		説明	設置写真を掲載し記事と合わせて興味を持ってもらう		実績値	2	2	
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

**【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)**

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
平成18年度 9件・平成19年度 6件・平成20年度 13件・平成21年度 20件と年々増加の傾向にはあります。普及浸透に、なお一層の努力が必要のため広報を含め 広く市民の理解を得る方策としたいので、継続、拡大を希望します。	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

平成22年度事務事業評価シート①（評価対象：平成21年度事業）

事務事業名	環境マネジメントシステム事業	事務事業No.	695
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input checked="" type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市環境マネジメントシステムマニュアル） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	環境政策課
		担当課長	石原 弘一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	人と自然との共生	環境にやさしいしくみづくり	計画的な環境保全施策の推進

【事業概要】

目的 (何のために)	小金井市環境基本条例、小金井市環境基本計画、小金井市環境保全実施計画及び小金井市地球温暖化対策実行計画(市役所版)、小金井市グリーン購入基本方針に基づく環境保全・創造の取り組みを一層強化していくため、また市の職員一人ひとりの環境意識を高めると同時に市政運営にそれを反映させるため。
対象 (誰・何を対象に)	全職員及び従事者(非常勤嘱託職員・臨時職員・委託業者等)・市が所管する全公共施設に適用
手段・方法 (内容、やり方等)	小金井市環境基本計画をベースにして、各課ではPDCAサイクルにより進行管理を行い、望ましい環境像の取り組みを進める。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成21年度の本事務事業の目標は何か。  <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>( PDCAサイクルのシステムを運用することにより、環境基本計画の推進をはかる。 )</p> <p>平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。  <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>( 3部15課の内部環境監査を行った。 )</p> <p>平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>( 監査結果を小金井市環境審議会、小金井市環境市民会議及び市長に報告した。 )</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。  <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>( 報告書の提出方法や提出時期の見直しをした。 )</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。  <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>( 3年間で一通りの監査が終わるので、その後、見直し・修正をする。 )</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。  <input checked="" type="checkbox"/>ある          →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可)  <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input checked="" type="checkbox"/>市民協働 <input checked="" type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他  <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>( 今後検討する。 )</p>

平成22年度事務事業評価シート②（評価対象：平成21年度事業）

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	2,236,500	0	
当初予算額	7,000,000	0	0
決算額	2,236,500	0	
執行率	31.95%	#DIV/0!	
人件費合計 ②	2,401,200	3,201,600	3,097,200
一般職員工数(人/年)	0.261	0.348	0.348
一般職員人件費	2,401,200	3,201,600	3,097,200
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	4,637,700	3,201,600	3,097,200
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	4,637,700	3,201,600	3,097,200
市民1人当たりコスト (C/人口)	41.948	28.760	27.698
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	2.074	#VALUE!	#VALUE!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#VALUE!	457,371.429	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	指標	単位	値	20年度	21年度	22年度
						目標値	実績値	目標値
指標1	活動量	名称	環境マネジメントシステム構築に係る打ち合わせ	回	目標値	—	—	—
		説明	環境マネジメントシステムを構築するための、委託業者や係内での打ち合わせ。	実績値	15	—		
指標2	成果	名称	小金井市環境マネジメントシステムの構築	円	目標値	—	—	—
		説明	小金井市環境マネジメントシステムを構築した	実績値	2236500	—		
指標2	活動量	名称	環境マネジメントシステムに係る内部環境監査	回	目標値	—	10	10
		説明	環境推進本部や内部監査員との会議や打ち合わせ	実績値	—	10		
指標2	成果	名称	内部環境監査の結果報告	件	目標値	—	0	0
		説明	内部環境監査の結果、是正勧告を受けた課	実績値	—	7		

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
小金井市環境基本計画をベースにした、望ましい環境像の取り組みを進めるためのPDCAサイクルのシステムが構築された。これにより進行・進捗管理を行い、2年後に一通りの監査が終わった後、システムの見直しを行い、よりよい環境マネジメントシステムを構築していきたいと思う。	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>環境マネジメントシステムがその目的を含め、職員に浸透していない実態がある。まず職員ひとりひとりの意識を高め、成果があがるようにするには、その周知方法を検討した方がよいのではないか。年に1回研修を行うとなっているが、漫然と行うのではなく、新入職員への研修の際、環境についての啓発の時間を設けてもらう等効果のある方法で職員に周知する必要がある。指標である活動量が打ち合わせの回数となっているが、指摘事項が減った等のような事業の目的に合った指標と成果を設定する必要がある。監査の結果どうするのか、その部分が検証されないとシステムの目的が果たされないと考えるので、市長に報告した結果をどうするのか、その後の進行管理について、具体的なマニュアルを策定する必要がある。環境問題はこれから先、大きな課題であり、市政にとっても重要な施策である。すぐに成果が出なくても長期的に取り組めば結果として大きな成果が得られると思われるので、継続して実施していくべきと考える。</p>	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
<p> </p>	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

平成22年度事務事業評価シート①（評価対象：平成21年度事業）

事務事業名	リサイクル補助事業	事務事業No.	75
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（小金井市補助金等交付規則及びリサイクル事業に関する協定書） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託（ <input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	ごみ対策課
		担当課長	柿崎 健一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	地域環境衛生	循環社会の形成	リサイクル(再生利用)、資源化の促進

【事業概要】

目的 (何のために)	(社)小金井市シルバー人材センターが実施する、リサイクル事業の安定的な運営を図るため。
対象 (誰・何を対象に)	(社)小金井市シルバー人材センターが実施する、リサイクル事業に対する補助金の交付
手段・方法 (内容、やり方等)	(社)小金井市シルバー人材センターから提出される、補助金等交付申請書に基づき、予算額内において事業費及び人件費等相当額の補助金の交付を行っている。補助金名:リサイクル事業、決算額5,217,258円
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成21年度の本事務事業の目標は何か。  <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(市内発生粗大ごみの再生販売によるリユース及びリサイクルの更なる促進)</p> <p>平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。  <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(リサイクル補助事業を通じ、粗大ごみの減量、資源の再利用及びごみ問題に対する市民の意識向上を図るとともに、高齢者の社会参加と就業機会の確保及び健康の増進が図られた。)</p> <p>平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(家庭から粗大ごみとして排出された家具木工品類・電化製品(家電リサイクル法対象品目を除く電気用品安全法に適合したもの)の収集・修理・販売とリサイクル自転車等の整備・販売の促進)</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。  <input type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(本事業は「リサイクル事業に関する協定書」に基づき、実施年度毎に提出される事業計画及び補助金申請内訳書を審査した上で補助金額を決定し、これを交付することにより適切な補助事業が継続されているため。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。  <input type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/>ない</p> <p>(課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。  <input type="checkbox"/>ある          →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可)  <input type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他  <input checked="" type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>市内ごみ発生抑制を主軸とした取組みを行うとともに、粗大ごみリサイクル事業の促進及び高齢者の就業機会を確保し、年間事業実績及び事業計画書に基づいた補助事業を継続することにより、安定した市民サービスが維持されているため。</p>

平成22年度事務事業評価シート②（評価対象：平成21年度事業）

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	4,986,294	5,217,258	
当初予算額	5,105,000	5,533,000	6,470,000
決算額	4,986,294	5,217,258	
執行率	97.67%	94.29%	
人件費合計 ②	119,600	119,600	0
一般職員工数(人/年)	0.013	0.013	0.000
一般職員人件費	119,600	119,600	0
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	5,105,894	5,336,858	6,470,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	5,105,894	5,336,858	6,470,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	46.183	47.941	57.861
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	60.132	63.330	76.777
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	
指標1	活動量	リサイクル補助事業	円	目標値	5105000	5533000	6470000
		補助金の交付		実績値	4986294	5217258	
指標2	成果	販売量	kg	目標値	95224	84912	84270
		リサイクル品を販売した重量(目標値は前年度実績値)		実績値	84912	84270	
指標2	活動量			目標値			
				実績値			
指標2	成果			目標値			
				実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
(社)小金井市シルバー人材センターが実施するリサイクル事業の運営に対する補助金の交付事業であり、事業計画書及び助成金申請内訳書に基づき、適正な補助金の交付を行った。また、このことにより、リサイクルに適する粗大ごみの確保及び提供の充実が図られた。また、平成18年度の事務事業評価における2次評価において、ごみ減量を目的とした粗大ごみの収集割合を増やすべき活動量の拡大をすべしとの方針が示されたが、しかしながら、ごみ減量の啓発事業は他なる事業で推進し、本事業の主たる目的である粗大ごみの再生販売によるリユース・リサイクルの促進を図る事業への補助金交付事業は適正な運用が図られていると判断されるため。	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>近年粗大ごみの排出量自体が減っており、それに伴いリサイクル対象物も減っているとのことであるが、このこと自体は、市民のごみ減量意識の向上によるものと思われ、リサイクル対象物の量を増やすこと自体を目的にする必要はないと考える。                  再生した粗大ごみを販売し、新たな利用に資してこそ初めてリユース・リサイクルが完了すると思われる。そういったことから、確保した量に対する販売量の割合を一つの指標と捉え、その増進に努めるべきと思う。                  そのために、リサイクル事業所としても、単に粗大ごみを再生するに止まらず、販売を促進するための営業努力をすべきであると思われる。ホームページをもっと充実させる、PRを積極的に行う等改善の余地はまだあると思われる。                  補助金を支出している市としても、見直し実績欄に書かれているような、補助金の支出に伴う書類等の審査による適正使用を確認することは当然のことながら必要であるが、事業所に対してもっと積極的に助言を行うことが必要と思われる。                  販売量の増加による売り上げ収入の増加により、補助金の支出を抑えることも考えられるのではないかと。                  リサイクル事業所と市が協働し、リユース・リサイクルに取り組むといった考えをもって本事業に当たっていただきたいと考える。                  次に、現在の収集方法についてであるが、現在は市民の方から粗大ごみ収集の依頼をうけて、まずリサイクル事業所の職員が確認に行き、リサイクルに適すると判断した場合は回収し、そうでない場合はリサイクル事業所では回収せず、その後市の職員が回収する方法をとっているとのことであるが、これでは市民の方は、後者の場合リサイクル事業所と市の2回対応しなければならないこととなり、市民の方の負担が大きいのと思われる。                  例えば、市の職員が先ず粗大ごみを回収し、リサイクル事業所に行って行き、そこでリサイクルの適否を判断するといった方法をとれば、市民の方の対応は一度で済むことになるが、こういった方法が取れないか等をリサイクル事業所を含め協議・検討すべきと考える。                  これらのことから、活動量において「要改善」と評価させていただく。</p>	

今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
<p> </p>	

今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	生ごみ減量化処理機器購入補助事業	事務事業No.	76
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（①小金井市生ごみ減量化処理機器購入費補助金交付要綱 ②小金井市事業所に対する生ごみ減量化処理機器購入費補助金交付要綱） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	ごみ対策課
		担当課長	柿崎 健一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	地域環境衛生	循環社会の形成	リサイクル(再生利用)、資源化の促進

【事業概要】

目的 (何のために)	市内から排出される生ごみを自家処理するための生ごみ減量化処理機器を購入する者に対し、補助金を交付し、ごみの減量化を推進し、併せて生活環境の保全を図ることを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	小金井市に住所を有する市民及び事業所。
手段・方法 (内容、やり方等)	①小金井市生ごみ減量化処理機器購入費補助金交付要綱、②小金井市事業所に対する生ごみ減量化処理機器購入費補助金交付要綱に従い、家庭用は一世帯一台上限5万円までの補助。事業所は一事業所上限100万円までの補助。補助金名：生ごみ減量化処理機器購入費補助金 決算額：14,918,100円
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) (生ごみ減量化処理機器の家庭用400件、事業用20件の普及)
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) (家庭用は、既に3000件あまりに普及し伸び率が緩やかになってきたこと、また、事業用は事業開始年あたり、処理機活用への理解を得られなかったため。 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) (家庭用286件(12,441,100円)。事業用4件(2,477,000円)。)
	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) (平成19年4月より、家庭用の機器購入に伴う補助率を、50%から80%へ、また上限額を2万円から5万円へアップ。 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない (生ごみ処理機の購入を希望される市民の割合は年々減少する傾向にあること。 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) 市報等を使い広く生ごみ処理機の補助金をアピールする。現在も行っているが、転入者に対してチラシ等で広報する。市民を交えた講演会等で処理機の使い方や便利さを伝える。生ごみ処理機より出た乾燥物を現在堆肥として加工しているの、農家、市民の方に使ってもらってきた野菜等を配布したり、販売したりしている。このことが広く伝わり目的の一つである循環型社会の構築をする。

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	14,955,000	14,918,100	
当初予算額	45,250,000	25,200,000	23,625,000
決算額	14,955,000	14,918,100	
執行率	33.05%	59.20%	
人件費合計 ②	920,000	559,800	588,300
一般職員工数(人/年)	0.100	0.039	0.039
一般職員人件費	920,000	358,800	347,100
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.067	0.067
再任用職員人件費	0	201,000	241,200
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	15,875,000	15,477,900	24,213,300
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	15,875,000	15,477,900	24,213,300
市民1人当たりコスト (C/人口)	143.590	139.038	216.538
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	1.062	1.038	1.025
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	実績値
指標1	活動量	生ごみ減量化処理機器購入補助	件	目標値	1100	650	551
		説明	家庭用 申請286件。事業用 4件。	実績値	360	290	
指標2	成果	購入費補助金額	円	目標値	45,250,000	25,200,000	23,625,000
		説明	家庭用補助金12,441,100円、事業所用2,477,000円	実績値	14,955,000	14,918,100	
指標2	活動量	名称		目標値			
		説明		実績値			
指標2	成果	名称		目標値			
		説明		実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
平成19年の補助率アップを頂点に年々申請者が減少している。世帯数の1割約5千世帯が購入すると見込み普及を進めている。すでに3千世帯以上に普及しており、新たな転入者にチラシ等で啓蒙すると共に、生ごみ処理機で出来た乾燥物を堆肥に加工しその堆肥を定期的に市民に配布する等のインセンティブを行っており、当初の目標世帯数を目指した活動量を維持したい。ただし予算額は申請実績及び補助金実績の推移を見極め、縮小する方針としたい。	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	北一會館運営維持管理事業	事務事業 No.	224
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業 ( <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし )		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり ( 小金井市粗大不燃ごみ処理場設置に係る基本協定書、小金井市粗大不燃ごみ処理場設置に係る細目協定書、地域振興対策交付金交付要項 ) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託( <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input checked="" type="checkbox"/> 民間 ) <input type="checkbox"/> 全部委託( <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間 )		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	ごみ対策課施設係
		担当課長	吉沢富士夫

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
豊かな人間性をはぐくむふれあいのあるまち	コミュニティ活動と生涯学習	コミュニティ活動の推進	コミュニティ意識の啓発

【事業概要】

目的 (何のために)	迷惑施設である中間処理場の地元振興対策。
対象 (誰・何を対象に)	小金井市貫井北町一丁目町会の会員(400世帯)
手段・方法 (内容、やり方等)	北一會館運営交付金地域振興対策交付金要綱に基づき、予算額内において施設管理人員費及び図書購入費を支払う。これにより施設管理、図書の充実を図る。 北一會館運営交付金2,695,000円
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) ( 迷惑施設である中間処理場への理解とごみ処理に対する理解を得たうえで、地域振興を図りながら施設の更新等についても理解を得ることにある。各年度ごとに目標をたてるものではない。 ) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) ( 中間処理場運営協議会の中で、施設の更新についての項目を加えることができた。また、協議会の委員の項目では市側の人数を増やすことができた。 ) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) 施設の更新についての話し合いをしたり、運営協議会の市側の委員の増員等ができた。少しずつではあるが、中間処理場や小金井市の置かれている現状等について理解していただいている。
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) ( 小金井市粗大不燃ごみ中間処理場設置に係る基本協定書及び北一會館管理運営要綱をもって行っている事業のため、それらを変更してないので事業の実施方法は変更していない。 ) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない ( 地域限定型となっているため、将来的には市民全体に還元していく必要がある。また、施設の老朽化で修繕費等の出費が考えられる。 ) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) ( 中間処理場運営協議会の中で、地域振興対策等についても協議ができるため。 )

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	3,343,720	3,245,546	
	当初予算額	3,171,000	3,297,000	3,380,000
	決算額	3,343,720	3,245,546	
	執行率	105.45%	98.44%	
	人件費合計 ②	460,000	460,000	445,000
	一般職員工数(人/年)	0.050	0.050	0.050
	一般職員人件費	460,000	460,000	445,000
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	3,803,720	3,705,546	3,825,000	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	3,803,720	3,705,546	3,825,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	34.405	33.287	34.207
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	1,802.711	1,327.677	#VALUE!
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	目標値
指標1	活動量	北一會館運営交付金	円	目標値	2695000	2695000	2695000
		地域振興対策交付金		実績値	2694800	2694800	
指標2	成果	北一會館利用者数	人	目標値	無	無	無
		北一會館利用者数		実績値	2110	2791	
指標2	活動量			目標値			
				実績値			
指標2	成果			目標値			
				実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
<input type="checkbox"/> 迷惑施設である 中間処理場の地域振興対策として北一會館を充実させることと、運営協議会とは別に北一會館の利用者等と会話をすることにより、より一層地域住民の理解を得ることができる。 <input type="checkbox"/> 将来的には全市民の理解を得ることを目指す。 <input type="checkbox"/> 中間処理場の更新になる際に備え、話し合いがもてれば拡大となるが、現段階では未定である。 <input type="checkbox"/> 北一會館の老朽化による修繕費が見込まれる	
今後の方針 (活動量:平成23年度の活動量の方針) (予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第2次評価】（他課の管理職者による評価）

1次評価及びヒアリングを踏まえた2次評価	
<p>本事業は、中間処理場建設に伴い、周辺自治会への配慮等から協定書を締結し、これに基づき進めてきている事業であることから、事業内容については、一定理解できるところである。                      しかしながら、中間処理場が建設されてからかなりの年月が過ぎており、周辺自治会にも一定中間処理場に対する理解を頂いているのではないかと考える。                      また、本施設である北一会館は、原則的には自治会に所属する住民のみを利用対象としていることから、利用率もさほど高くない状況にあり、建設当時よりも必要性が薄れてきているのではないかと感じられる部分もある。                      このような現状を鑑みると、今後、中間処理場の建替え・更新がなされる時点で、周辺自治会と協議を重ね、一部見直す必要もあるものと考え。</p>	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

【第3次評価】（庁内部長職者で構成する行政評価会議による評価）

1次評価及び2次評価を踏まえた3次評価	
<p> </p>	
今後の方針（活動量：平成23年度の活動量の方針）（予算：平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針）	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

平成22年度事務事業評価シート①（評価対象：平成21年度事業）

事務事業名	犬・猫等埋葬事業	事務事業No.	486
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（廃棄物の処理及び再利用に関する条例） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	ごみ対策課
		担当課長	柿崎 健一

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
安心してらせる生きがいの あるまち	健康・医療	保健活動の充実	疾病の予防・健康診査の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	犬や猫等の死体は、市が適正に処理すべき廃棄物であり、生活環境を清潔にすることにより、市民が健康で、快適な生活を確保することを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	市内全域を対象とする。
手段・方法 (内容、やり方等)	市民から連絡を受けてから取りに行き、慈恵院まで運搬する。
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) ( 数字的には目標はないが、環境美化を維持するための迅速な対応。 ) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) ( 衛生的なまちづくりが維持された。 ) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) ( 適切、且つ迅速に対応することができた。 )
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) ( 現状として、処理対応が維持されているため。 ) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない ( 対応する職員に対し、感染防止対策を含む衛生管理上の教育の実施 ) 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) ( 本事業を委託し、職員の感染防止及び衛生管理上のリスクをすべて排除すべき課題もあるが、全面委託した場合、費用の増大が見込まれる。 )

平成22年度事務事業評価シート②（評価対象：平成21年度事業）

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	570,000	510,000	
当初予算額	650,000	650,000	650,000
決算額	570,000	510,000	
執行率	87.69%	78.46%	
人件費合計 ②	1,113,200	993,600	1,254,900
一般職員工数(人/年)	0.121	0.108	0.141
一般職員人件費	1,113,200	993,600	1,254,900
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	1,683,200	1,503,600	1,904,900
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	115,000	95,000	650,000
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	115,000	95,000	650,000
(単位:円)			
純支出額 C(A-B)	1,568,200	1,408,600	1,254,900
市民1人当たりコスト (C/人口)	14.184	12.653	11.223
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	15,682.000	14,086.000	12,549.000
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	実績値
指標1	活動量	犬・猫処理回収	体	目標値	260	260	260
		説明	環境保全及び公衆衛生の向上(目標値は前年度実績)	実績値	228	204	
指標1	成果	環境保全の維持(回収率)	%	目標値	100	100	100
		説明	環境美化の向上をはかる	実績値	100	100	
指標2	活動量	名称		目標値			
		説明		実績値			
指標2	成果	名称		目標値			
		説明		実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
本事業に伴う年間発生件数は比較的変動が少なく、現在、職員が死体の引き取り及び埋葬場までの運搬処理を円滑に行っている。疫病の感染等衛生面における問題は残るが、外部への委託を実施した場合には高額な費用が必要となるため、埋葬場(慈恵院)の現所在地の変更、または何らかの感染症の発症・拡大等が起こらない限り、現状の事業を継続することが適切であるとする。	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	ごみゼロ化推進会議運営事業	事務事業 No.	639
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業 ( <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし )		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり ( 小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例 第8条 小金井市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例施行規則 第3条から第7条まで ) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託(口公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間) <input type="checkbox"/> 全部委託(口公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間)		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	ごみ対策課
		担当課長	柿崎 健一

**【総合計画における位置づけ】**

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	地域環境衛生	循環社会の形成	ごみの発生抑制

**【事業概要】**

目的(何のために)	市の施策への協力とその他の啓発活動を通じて、一般廃棄物(家庭系、事業系ごみ)の減量とその適正な処理を推進し、まちの美化活動も併せて行うことで、生活環境の保全を図ることを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	一般廃棄物(家庭系ごみ、事業系ごみ)の適正な処理に熱意と識見を有する市民
手段・方法(内容、やり方)	総会の開催(6月)、各部会の運営(随時) 市の施策への協力(事業所ごみ実態調査/年1回、生ごみリサイクル事業への協力/随時・8月) その他の啓発活動(講演会/年1回、施設見学/随時、イベント会場におけるごみ分別指導/年1回) 美化活動(喫煙マナーアップキャンペーン/各月、ノーマジ袋キャンペーン/年2回、一斉清掃/11月)等
活動実績(事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) ( 町会、自治会、マンション管理組合へのごみ減量の働きかけ、講演会・施設見学会の開催、生ごみリサイクル事業(夏休み生ごみ市民投入事業など)への参加、美化活動への協力 )
見直し実績(事業の改善、実施方法の見直し等)	平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) ( 講演会・施設見学会の開催は7回を数え、また夏休み生ごみ市民投入事業など市の施策への協力、その他の啓発活動、美化活動それぞれにおいて一定程度の活動を行う事ができた。 )
	平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) ( 講演会『趣味のエコロジストが語るごみを出さない暮らしのコツ』講師:赤星たみこ、施設見学会(市施設、他市・民間処理施設(2回)、事業用生ごみ処理機設置事業所(2回))、夏休み生ごみ市民投入事業、美化活動(喫煙マナーアップキャンペーン/各月、一斉清掃/11月)等 )
	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) ( ごみゼロ化推進会議が平成18年10月に、廃棄物減量等推進員制度に代わって発足して以来、まだ3年半しか経過していないため。 )
	本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない ( 本事業が発足して以来、環境行政を取り巻く状況は変化しており、発足当初想定していた一般廃棄物の減量とその適正な処理をめぐる状況及び市民感情が変化しつつある。 )
	課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入)
	市の環境行政を取り巻く状況は刻々と変化し、一般廃棄物(家庭系ごみ・事業系ごみ)を取り巻く状況や市民感情も発足当初想定していたものから大きく変化してきている。このことから、改めて市民と協働でごみゼロ化推進会議の活動について検討する必要があると考えられる。

(単位:円)

【総コスト指標】		平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
歳出	事業費(決算額) ①	105,600	106,500	
	当初予算額	181,000	181,000	212,000
	決算額	105,600	106,500	
	執行率	58.34%	58.84%	
	人件費合計 ②	2,116,000	2,070,000	1,432,900
	一般職員工数(人/年)	0.230	0.225	0.161
	一般職員人件費	2,116,000	2,070,000	1,432,900
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	2,221,600	2,176,500	1,644,900	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	2,221,600	2,176,500	1,644,900
市民1人当たりコスト (C/人口)	20.094	19.552	14.710
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	1,110,800.000	1,088,250.000	822,450.000
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

**【指標データ】**

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度	
					目標値	実績値	実績値	
指標1	活動量	名称	会議・活動の開催数	回	目標値	47	47	47
		説明	総会及び各部会の運営を行う他、美化活動をはじめ、施設見学会、講演会を開催し、啓発活動を行う。		実績値	81	89	
指標2	成果	名称	イベントにおけるごみ分別活動	回	目標値	2	2	2
		説明	なかよし市民まつり等でのごみ分別活動・ごみ啓発活動を行う。		実績値	2	2	
指標1	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
指標2	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

**【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)**

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
平成18年10月に、ごみゼロ化推進会議が発足して以来、市の環境行政を取り巻く状況は刻々と変化しており、一般廃棄物(家庭系ごみ、事業系ごみ)の減量とその適正な処理をめぐる状況とそれを取り囲む市民意識は、発足当初想定していたものから大きく変化してきており、日々変化する状況の中、その対応について協議を重ねている。新ごみ処理施設建設までの間、継続して一般廃棄物の適正な処理とその減量を図っていく必要があるため、市の施策への協力、その他の啓発活動、そしてまちの美化活動それぞれについて今後も活動を継続して行っていくとともに、市民と協働で状況の変化に応じた、新たな取り組みなども検討していくこととした。	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	雨水浸透施設等設置助成事業	事務事業No.	13
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業 ( <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし )		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり ( 小金井市雨水浸透施設等設置助成金交付要綱 ) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託(公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間) <input type="checkbox"/> 全部委託(公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間)		
共通課題	<input checked="" type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	下水道課
		担当課長	井上信之

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	みどりと水	水辺の拡大	雨水の地下浸透対策

【事業概要】

目的(何のために)	浸水被害の防止、軽減を図るとともに、地下水、湧水その他自然環境の保全及び回復に資する。
対象(誰・何を対象に)	昭和63年9月以前の建物で、雨水浸透施設の設置に対し助成。
手段・方法(内容、やり方等)	施設の設置を希望する市民は、市の排水設備指定工事店をとおり、市長へ申請をする。
活動実績(事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) ( 助成予定件数 35件 ) 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) ( 助成実績件数 34件 ) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) ( 助成実績件数 34件 )
見直し実績(事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) ( 本事業を推進していくための啓発活動についての検討 ) 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない 昭和63年9月以前に建築した個人の建物に浸透ますを設置する場合に助成をしているが、老朽化に伴う建替えに対し、強制力がない。設置を促すために新築建物に助成するのは件数が多いため、予算上助成しきれない。 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) 設置の9割以上が、助成対象外の新築であり、新築であっても、浸透禁止区域以外は、窓口での協力依頼により、新築全てに浸透施設を設置してもらっている。助成の対象(昭和63年9月以前の建物)では、助成金で浸透施設設置のほぼ全額が賄え、昭和63年10月以降の建物は、原則的に新築の際、浸透施設を設置してもらうため、助成の範囲は網羅されていると思われる。

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	4,802,000	5,918,000	
	当初予算額	6,000,000	6,000,000	4,006,000
	決算額	4,802,000	5,918,000	
	執行率	80.03%	98.63%	
	人件費合計 ②	920,000	920,000	890,000
	一般職員工数(人/年)	0.100	0.100	0.100
	一般職員人件費	920,000	920,000	890,000
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	5,722,000	6,838,000	4,896,000	
歳入	国・都支出金の合計 ③	3,480,900	4,290,000	2,900,000
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	3,480,900	4,290,000	2,900,000

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	2,241,100	2,548,000	1,996,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	20.271	22.889	17.850
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	74,703.333	72,800.000	83,166.667
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	指標	単位	値	20年度	21年度	22年度
						目標値	実績値	実績値
指標1	活動量	名称	助成の申請件数	件	目標値	37	35	24
		説明	浸透施設の設置を申請された件数		実績値	30	35	
	成果	名称	助成の実績件数	件	目標値	37	35	24
		説明	浸透施設の設置が設置された件数		実績値	30	35	
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
助成対象が、昭和63年9月以前に建築した個人の建物に浸透ますを設置する場合に限定しているため、減少傾向にある。平成22年度は、予算を前年度比600万円から400万円に減額計上している。平成23年度以降の実績をふまえて今後、活動量、予算とも縮小を視野に検討することとしたい。 なお、現状において、本事業に対して国(事業費の45%)・都(事業費の27.5%)の補助金が充当されているため、市負担は総事業費の27.5%となっている。	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

事務事業名	下水道使用料賦課徴収事務	事務事業No.	67
<b>【基本情報】</b>			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業 (法律で実施が義務づけられている) <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業 ( <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例 <input type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし )		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり ( 使用料徴収:小金井市下水道条例第12条 ( 使用料減免:小金井市下水道条例第16条、同施行規則第33~36条、 下水道使用料減免取扱要綱 ) <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託( <input checked="" type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間 ) <input type="checkbox"/> 全部委託( <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間 )		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	環境部	担当課	下水道課
		担当課長	井上信之

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
みどり豊かで快適な魅力あるまち(環境と都市基盤)	上下水道	下水道の維持・管理	下水道事業の充実

【事業概要】

目的 (何のために)	使用料徴収:下水道事業の財源確保のため。 減免:・社会的弱者・生活関連業種の経済的負担の軽減。
対象 (誰・何を対象に)	下水道使用者(55,316世帯・114,251人)
手段・方法 (内容、やり方等)	使用料徴収:下水道使用料徴収事務を東京都水道局へ委託する方法で実施。 減免:減免希望対象者は、減免申請を提出する。
活動実績 (事業の結果等)	平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input type="checkbox"/> 目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 目標がない(ない理由を下欄に記入) ①使用料徴収:一般的には委託経費の節約、収納率の向上等だが、経費詳細が把握できず、未収金は、使用者死亡、転居先不明等、これ以上の収納率はほぼ望めないため。②減免:申請に基づく減免のため、目標を掲げることが馴染まない。 平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input type="checkbox"/> 達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入) ( 目標がないため ) 平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入) ( ①使用料徴収:年3回会議等に出席。平成21年度 下水道使用料徴収事務委託料 163,532,945円 ②減免:減免還付措置 218件 減免還付金額 881,768円 )
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> 行っていない(行っていない理由を下欄に記入) ( ①行っていない→使用料徴収:東京都に委託のため、実務上業務内容の詳細をチェックするのが困難。②行っている→減免:平成18・20年度に現金還付という他市にはない独自制度を維持する必要性についての検討を行った。 本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/> ない ( ①使用料徴収:東京都に委託のため、適正額か、見積り等の比較対象ができない。②減免:他市に比べ、減免の項目が多く、必要性に疑問が残る。平成18年度の評価にて、3次評価の際、「現状維持」となった。約88万円を還付するのに、職員経費約64万円(非常勤のみ)かかる。 課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/> 庁内検討 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ない(行わない理由を下欄に記入) 規則で所得制限のある者等に対して現金還付を行う制度は市独自の制度であり、次年度に還付の処理をする。そのため、所得や世帯状況、納付状況などについて調査を行うため、事務の煩雑さを抱き、また、下水道使用料の料金については他市と比較して低水準である。このような状況から本制度を維持していく必要性について疑問がある。事務執行上の改善余地は無く、存続か廃止かの政策的な判断になる。(ちなみに平成18年度は第3次評価で「現状維持」と判断された)

【総コスト指標】

(単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)	
歳出	事業費(決算額) ①	136,635,116	163,532,945	
	当初予算額	150,169,000	166,898,000	165,993,000
	決算額	136,635,116	163,532,945	
	執行率	90.99%	97.98%	
	人件費合計 ②	4,141,752	4,141,752	4,028,352
	一般職員工数(人/年)	0.378	0.378	0.378
	一般職員人件費	3,477,600	3,477,600	3,364,200
	再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
	再任用職員人件費	0	0	0
	嘱託職員人件費	664,152	664,152	664,152
歳出計 A(①+②)	140,776,868	167,674,697	170,021,352	
歳入	国・都支出金の合計 ③	0	0	0
	使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
	その他の合計 ⑤	0	0	0
	歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	140,776,868	167,674,697	170,021,352
市民1人当たりコスト (C/人口)	1,273.330	1,506.227	1,520.491
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	0.136	0.164	0.165
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	155.346	190.157	118.730

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度
					目標値	実績値	目標値
指標1	活動量	下水道使用料徴収事務委託	円	目標値	148127000	165256000	164445000
		多摩下水道使用料徴収事務委託協議会の出席。 下水道使用料徴収事務委託料を支出する。		実績値	135600642	162549738	
	成果	下水道使用料収入	円	目標値	1060170000	1061835000	1033374000
		下水道使用料収入済額		実績値	1036983946	1022585709	
指標2	活動量	下水道使用料減免還付対象者の決定	人	目標値	250	230	240
		減免に該当する者の審査・決定をする。		実績値	223	218	
	成果	下水道使用料減免額の還付	円	目標値	1700000	1511000	1432000
		減免に該当する者に、使用料の還付をする。		実績値	906216	881768	

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
活動量	・下水道使用料徴収委託(東京都水道局に徴収の委託をさせる):①委託料が適正か、見積り等の比較対象がない。②下水道使用料の効効は2年、下水道使用料の効効は5年。今後の動向として、東京都で回収不能の債権のうち、2年を過ぎた下水道使用料は、協定に基づき、今後市へ返還する予定。市で差押え等実施することとなるが、現体制では事実上、不可能。 ・減免:他市では行っていない所得の制限をもうけ翌年度に現金還付をしている。また、使用料についても他市と比較して低水準にあることから必要性に疑問が残る。平成18年度の3次評価では、「現状維持」となった。本事業については、廃止か存続かの選択肢が少なくそれについては政策的な判断となる。現時点においては、現状維持と考える。
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止